



# じょうほう 織部

令和  
元年度号

12月10日発行  
PTA広報委員会

大東高校PTA会報

こう まい  
**煌舞**

～新たに刻む  
大東の歴史～



## 会長挨拶

PTA会長 梶 博



本年度新たに会長の命を受け、不慣れながらも皆様の御協力によりPTA事業が進められておりますこと御礼申し上げます。

昨年、台風の影響で延期されていた創立100周年事業の池上彰様の講演会が、5月20日に実施されました。世界を股にかけ活躍されている池上さんの、直接高校生に語りかける様々なお話しは、実体験を元にした説得力のあるお話しで、これからの人生を考える上で大変貴重なお話が聞けたのではないかと考えています。

その中で一つ、「教育とは何か」という話がありました。フィリピンのマニラのスラム街では、子どもも含めゴミから金目の物を拾い売って生活するなかで、日常的に物が盗まれることが当たり前。そこで学校に行け

ない子どもたちに向け、外国のボランティアがリアカーに教科書載せて出前教室をしてくれていた。その授業を受けたことで教師になったという若者に、「教育とは何か」と尋ねたら「お金や物と違って人から決して盗まれない自分の財産」と答えたとのこと。

教育とは、盗まれることのない財産。何のために学校に行くのか、学ぶのか、ということに関しての一つの答えとして、心に残ったお話しでした。

8月には、京都で開催された、全国高等学校PTA連合大会に参加させていただきました。高校生の親として、進路のこと、人生のこと、大変勉強になりました。様々な学びが、自分の財産となることを感じました。

来年の8月にはこの全国大会が島根で開催されることとなっています。全国から1万人が集まるとても大きなイベントで、1500人集まる会場の一つとして三刀屋のアスパルが計画されています。PTAの皆様にも御協力いただく場面があると思いますので、よろしく願いいたします。

## 豊かな時間の先の未来

校長 中村 訓子



未来につながる豊かな時間が確かにそこには流れていました。そして、そこに立ち会うことを許された者にとって、その豊かな時間は幸せな時間でもありました。

先日、生徒会の生徒たちが学校評議員、卒業生、保護者の方々と「魅力ある教育」をテーマに話し合う時間をもちました。生徒が2～3人、大人の方が2人というグループ構成で、10あまりのグループがそれぞれフラットな関係で、自分自身の考えや思いを語り合っていた姿はとても印象的でした。

「地域に出てもっと活動がしたい」「国際社会になるのだから、もっとたくさんのALT(英語指導助手)にいてほしい」「忙しさに追われることなく、いろいろなことにチャレンジができる環境が必要」「食堂がほしい。いろいろな家庭があるから」「受け身の授業ではなく、思考力をつける授業を受けたい」…。

生徒たちの言葉は、自分たちの学びや高校生活にしっかりと向き合っているからこそその言葉であったと思います。自分の言葉で、気負うことなく自分の考えを述べる。そこには、自分自身の学びを豊かなものにしたという願いがあり、これからの社会の担い手としての意識も見えていました。そしてその言葉にじっくり耳をかたむけていただいた大人の方々の言葉も生徒の心にはしっかりと届いていたようでした。

「大人の方と話をすることができて、こうなってほしいという夢がそれぞれにあったことが印象に残った。これらが本当に実現したらもっと世の中は変わっていくと思った」「変化に対応できる学びをすることが大事であると思った」「大人の堅いイメージを取り払う情熱的なことが聞けてよかった」

世代を超えて語り合う。一昔前までは、そういう場が多く地域のなかにもありました。「魅力的な教育とは」というテーマで未来を語り合う、世代を超えた「共創共学」の姿は、これからの大東高校のあり方を示唆しているようにも感じ、感銘深い姿でありました。

2022年には新しい教育課程で教育を行うことが決まっています。同時に島根県のすべての高等学校で「コンソーシアム」を構築することが決まっています。「コンソーシアム」とは地域と高校が、目指す学校の姿や育てたい生徒像を共有し、魅力ある高校を作っていく協働体制のことですが、大東高校は雲南市にある高校として、三刀屋高校、掛合分校とともに今年度、既にその構築に向けて動き出しています。世代を超えた「魅力的な教育」について語られた内容は、このコンソーシアムの中にも生かしていきたいと考えています。

また、来年度は全国高等学校PTA連合大会の全国大会が島根県で開催されますが、雲南市でも三刀屋のアスパルで分科会が開催されることが決まっています。テーマは「グローバルにつなぐ教育とのご縁」(仮題)。世界的な取り組みとなっているSDGs(持続可能な開発目標)を取り上げ、グローバルな視点での教育についての取組について考える分科会となるようです。保護者の皆様にも会場の設営や参加などをお願いすることが多々あるかと存じますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会は、これまで誰も経験したことのない変革を迎えているといわれています。その変革の波にのまれることなく、自分の生き方あり方を共に生きる人たちの幸せにつなげ、社会をよりよくしようと志す。そんな未来を創り出す意志と意欲を持った生徒たちを保護者の皆様とともに、育てていきたいと願っています。重ねて、本校の教育に更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 総務委員会



総務委員会では、今年度も学園祭で模擬店を出店し、カレーライスとジュースを販売しました。担当の先生方と総務委員が中庭と調理室の二手に分かれて準備を進めました。調理室では大量の野菜とお肉を切ってから炒めてもらい、中庭では大量のご飯を炊き、その後カレーを作りました。ご飯は量が多い為、水の分量が難しかったです。また、調理室から中庭に食材を運ぶのも大変でした。さらに当日は大雨だった為、設営にも手間取りました。いろいろ大変でしたが、皆さんの協力でスムーズに対応できたと思います。

肝心のカレーライスも上々の出来で、販売時間になるとあっという間に完売しました。模擬店の出店に当たりご協力いただいた皆様には、大変感謝致します。ありがとうございました。

委員長 石本 知典

## 育成委員会

育成委員会では、夏休みのパトロールを先生、保護者の皆様のご協力により「加茂二十三夜祭」と「大東七夕祭り」で行いました。今年度から、当日のパトロールは保護者のみで行うこととなり、不安もありましたが、事前の準備段階で先生方に様々なアドバイスをいただくことにより、保護者でパトロールを実施することができました。いずれの祭りも多くの生徒の笑顔が地域の賑わいの中心となっていて、祭りの賑わいの創出をしているように感じた次第です。私もお祭りの雰囲気心がとても和みました。

こうした姿から、大東高校の生徒を取り巻く育成環境は「生徒と地域が関わりを持ちながらお互いの成長するとともに恵まれた環境だ。」と感じました。生徒が地域に積極的に出かける地域課題研究等の取り組みなどが実を結んでいるようにも見えました。

これから、先の地域を考える上で、大東高校に対する期待はますます高まって行くものと思います。少子化の影響もあり、教育の地域間競争が進んでいく状況の中、すでに生徒は地域課題の解決へ向けてさまざまな活動をしていることを私たち保護者が認識し、これを応援し、地域や育成環境を変化させていく努力が必要だと思います。

今年度も後半となり、残り数ヶ月になりますが、明るく爽やかに充実した学校生活を送れるよう、引き続きご協力をお願いします。

委員長 高橋 澄人

## 広報委員会

広報委員会では、PTA会報「じょうほう織部」を発行しています。昨年度から年1回の発行となりましたので、より充実した紙面になるよう広報委員会で検討し、今回の発行を迎えました。ご寄稿をお願いさせていただいた先生、役員、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

さて、この会報を発行する12月時点では、全学年で参加される学校行事は、入学式をはじめ、球技大会、高校総体、文化祭、体育祭などが無事に終了し、生徒のみなさんの記憶の中の1ページとなっていることと思います。そうした学校生活で得た体験は、卒業後も記憶に残り、今後の人生を送るうえで、とても大切なものとなります。この会報も卒業後にそうした記憶を呼び覚ます縁としてお役に立てるよう、写真・メッセージを多く掲載するよう企画しました。

ほかにも、100周年記念池上彰氏講演会の開催、島根県高校総体でのBグループ男女総合優勝など記憶に残る1年となりました。3年生のみなさんの卒業式はこの誌面でお伝えすることはできませんが、大東高校を先頭になって引っ張ってこられたみなさんの姿は、先生・保護者・生徒のみなさんの記憶の中の1ページにしっかり残ることと思います。

今年度も残りあと僅かですが、すてきな思い出がいっぱい残るよう充実した学校生活を送られることをお祈りしております。

委員長 永瀬 博



# 総合的な 学習・探究の時間

2019年度の「総合的な学習・探究の時間」では、1年生においては地域・社会の出来事を「自分ごと」として考える力を育むことを目指した活動に、2年生においては地域・社会の出来事に対し、自分自身の興味関心を通じて行動を起こす力を育むことを目指した活動に、取り組んでいます。

1年生は1学期間を通じて、地域を肌で感じる活動に取り組めます。5月に実施する「社会人カタリ場」では、雲南市で働く大人約40名からリアルな人生を聞き、本音で話しながら自身を見つめなおす時間を過ごしました。そして、夏休みに実施する「地域フィールドワーク」では、祭りや小学生キャンプ等、実際に地域で行われている活動へ生徒全員が参加し、地域で活動している方々の想いを身近に受け取ってきました。

地域を知り、地域の人々の想いに触れ、2学期には「SIMULATION雲南2030」に取り組めました。「SIMULATION雲南2030」は、昨年度実施した「SIM雲南2030」を改定した、行政運営の仕組みを体験できるシミュレーションゲームです。財政危機を迎えた2030年の「仮想雲南市」を存続させるため、カード化された15枚の行政事業の中から、削減する事業を

話し合っ決定していきます。削減する事業を決める議論の過程で、まちの未来やそこに暮らす人々の暮らしを想像する思考力と視野の広さを育みます。

2年生は1学期には教育・自然・文化・健康・スポーツ・グローバルの6つの分野において各自が問いを設定し、探究活動を実施しました。自身の探究テーマに関して活動されている地域の方へのインタビューを実施するなど、座学だけでなく、実際に自分で動いて情報収集を行いました。

与えられた分野から問いを設定し、自分なりの答えを導き出した1学期。2学期には、自分自身の興味関心から問いを設定し、探究活動を進めていきました。自分自身が心から「やりたい」と思えることは、何のために、誰の笑顔に繋がっているのか。想像し、実際に行動することを通じて、課題を適切に設定し、解決する力を育むことを目標にしてきました。

変化が激しい時代に会って、予測できない未来を生き抜くために、様々な資質・能力を身につけていくことが求められています。正解のない問いを「自分ごと」として考え、行動できるようになる力も、その1つ。雲南市の学びの資源を活かし、社会にある様々なことに触れながら、社会を観る眼を広く・深く育てる「探究」に、今後も取り組み続けて参りたいと思います。

大東高校教育魅力化コーディネーター 山本竜太郎





## 池上 彰さん 講演会

5月20日(月)に、百周年記念講演会を、雲南市加茂文化ホール「ラメール」で行いました。

本校の100年の歴史を振り返るDVDを上映した後に、講師にお招きした池上彰先生より、「これからの100年に向かって」という演題でご講演いただきました。

学ぶことの意味に改めて気づかされる、学びの多い時間となりました。当日は地域の皆様、卒業生の皆様にも開放し、おおよそ、770名の方に参加していただきました。



### 生徒の感想

将来のことを決めるこの時期に、池上さんの「感謝される仕事を選ぶこと」ということにとっても背中を押された気がします。まだ、明確に(進路が)決まっていな私にとって、道筋を少し切り開かせてもらったかのようにも思えます。

一番心に残ったのは、今の夢を持ち続けるということで、将来的にその夢を叶えられるかどうかは分からないけれど、その気持ちを忘れず、何かどこかでつながっているかもしれないということをおぼえてはいけないと思う。だからこそ今を大切にしていきたい。

自分が周囲に関心が薄く無知であることを認めていながら知ろうとする努力をしていなかったことに気づきました。身近なものから遠い国の些細な物事にも興味をもって自主的に情報を取り入れ自分の知識の幅を広げていきたいと思いました。

「勉強は人に決して盗まれることのない財産だ」という言葉が私の心に残っています。本当に今の自分が恵まれた環境にいてたくさん勉強ができてたくさん夢を持てることは素晴らしいことだと感じました。

# 部活動報告



第57回島根県高等学校総合体育大会におきまして、本校は、Bグループで男女総合優勝、男子総合優勝という結果を残しました。

6/3(月)の総体報告会に先立ち、県高体連事務局長より学校対抗戦の表彰が行われました。

本校を応援していただきました全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## インターハイの主な成績

### ◆ インターハイ結果・バドミントン部 (7/30~8/5 熊本県八代市)

- 女子学校対抗戦 【1回戦】大東 3-2 糸満(沖縄) 【2回戦】大東 0-3 青森山田(青森)
- 男子個人戦ダブルス 【1回戦】藤井・白根組 2-0 三好・立石組(徳島城東・徳島) 【2回戦】藤井・白根組 0-2 野田・浦組(八代東・熊本)

### ◆ インターハイ結果・空手道部 (8/8~8/11、沖縄県名護市)

- 女子団体組手 【1回戦】大東 1-4 磯城野(奈良)

## 天皇陛下御即位記念 第74回国民体育大会

- ビーチバレーボール種目(少年男子) いきいき茨城ゆめ国体  
島根県代表(藤原健斗・江隅孝太) 準優勝
- 剣道(少年男子) … 島根県少年男子 5位入賞(本校生徒 松本直樹 出場)



## 県総体以降の主な大会結果 (12月10日現在)

### ◆ 陸上部

- 中国大会 …… 【女子200m】永瀬 望：出場 【女子400m】永瀬 望：出場  
【女子やりなげ】藤本愛佳：出場
- 県高校新人大会 【女子800m】藤原里沙、亀山あいり：B 決勝進出  
【女子1500m】小山亜美：5位  
【女子やりなげ】藤本愛佳：3位  
【女子4×100mR】8位
- 中国新人陸上 … 【女子やりなげ】藤本愛佳：出場 【女子1500m】小山亜美：出場

### ◆ バドミントン部

- 県高校選手権大会  
男子シングルス 藤井大翔：3位 吉木陸駆：ベスト8  
男子ダブルス 藤井・白根組：2位 吉川・武田組・武田・吉木組：ベスト8  
女子シングルス 小山千穂：1位 小山紗季：2位 日野優那・榎原悠華：3位  
影山遥香・坪井千祐・内田朱美：ベスト8  
女子ダブルス 小山千穂・日野組：1位 小山紗季・影山組：2位  
榎原・内田組：3位 長廻・坪井組：ベスト8

### ○ 県新人戦

- 団体戦 …… 女子：優勝 男子：3位
- 個人戦女子ダブルス 小山千穂・日野：1位 榎原・内田：2位  
小山紗季・影山：3位
- 個人戦男子ダブルス 白根・板持：2位
- 女子シングルス …… 小山千穂：1位 日野優那：2位 小山紗季：3位

### ◆ 空手道部

- 県新人戦 【女子団体形】2位 【女子団体組手】2位  
【女子個人組手-53kg級】 ベスト8：石原咲希  
【女子個人組手-59kg級】 ベスト4：青木真実・恩田千奈  
ベスト8：市原永遠・飯塚結衣子・和久利華鈴  
【女子個人組手+59kg級】 1位：神庭姫乃 2位：田部美里  
【男子個人組手-61kg級】 ベスト8：高橋要  
【男子個人組手-68kg級】 ベスト8：藤原侑社

### ◆ 写真部

- 秋季写真コンクール 特選3作品(2年多根和哉・加藤志歩、1年加納竜太)、他に入選7作品
- 県高校写真展 …… 2席(加藤志歩、全国総文祭出場権獲得)、他に入選7作品

### ◆ 吹奏楽部

- 第60回全日本吹奏楽コンクール島根県大会 高等学校Aの部 銀賞 演奏曲目：マーチ「エイプリル・リーフ」、梁塵秘抄～熊野古道の幻想～

### ◆ ソフトボール部

- 島根県高等学校ソフトボール選手権大会 優勝
- 島根県高等学校ソフトボール新人戦 …… 優勝



### ◆ バレーボール(男子)

- 全国高校選手権大会県予選 ベスト8

### ◆ 剣道部

- 県選手権大会  
【男子団体戦】ベスト8  
【男子個人】福島 魁：ベスト8  
【女子個人】日野あゆみ：ベスト8

### ◆ 野球部

- 県高校野球秋季大会 2回戦：大東0-7開星



各部3年生の  
キャプテン、  
主将、部長に  
聞きました!!

# 部活動を通して 学んだこと



✂ バドミントン部



✂ 空手道部



✂ ソフトテニス部 (男子)



✂ バスケットボール部



✂ ソフトテニス部 (女子)



✂ バレーボール部 (男子)



✂ バレーボール部 (女子)



✂ ソフトボール部



✂ 陸上部



✂ 野球部



✂ 剣道部



✂ 美術部



✂ 写真部



✂ 吹奏楽部



✂ 地域文化部



## 学校行事 日程表

4月 8日 1学期始業式  
9日 入学式  
5月 17日 総体壮行式  
20日 百周年記念講演会  
24日～26日 前期総体  
30日～6月1日 後期総体  
6月 14日～16日 勉強合宿  
7月 9日 球技大会  
10日 壮行式

7月 19日 1学期終業式  
シャノン先生離任式  
30日 企業見学(2年生希望者のみ)  
8月20日 2学期始業式  
ズグレ先生着任式  
22日 オープンスクール  
28日～9月1日 織部祭  
9月 17日 避難訓練  
18日 立会演説会  
10月 2日 遠足  
23日 企業見学・進路見学会  
11月 14日 地域との意見交換会  
5日～15日 挨拶強化週間(生徒会活動)



新しくズグレ先生が着任!

